

令和元年度指定管理者制度活用事業 評価シート(こども文化センター)

1. 基本事項

|      |  |        |               |
|------|--|--------|---------------|
| 施設名称 | 麻生区第1グループ(百合丘・東百合丘・千代ヶ丘)   | 評価対象年度 | 令和元年度         |
| 事業者名 | ・事業者名 公益財団法人かわさき市民活動センター<br>・代表者名 理事長 小倉 敬子<br>・住所 川崎市中原区新丸子東3丁目1100番地12 | 評価者    | 青少年支援室長       |
| 指定期間 | 平成31年4月1日～令和6年3月31日  | 所管課    | こども未来局 青少年支援室 |

2. 事業実績

| 利用実績                         | H30  |         | R1         |            | H30     |       | R1 |  |
|------------------------------|--|---------|------------|------------|---------|-------|----|--|
|                              | 1 百合丘こども文化センター<br>①年間延べ利用者数  | 30,731人 | 31,043人    | ②年間延べ利用団体数 | 446団体   | 390団体 |    |  |
| 2 百合丘小学校わくわくプラザ<br>①登録者数     | 515人   | 556人    | ②年間延べ利用者数  | 32,694人    | 33,408人 |       |    |  |
| 3 西生田小学校わくわくプラザ<br>①登録者数     | 406人   | 450人    | ②年間延べ利用者数  | 25,693人    | 24,173人 |       |    |  |
| 1 東百合丘こども文化センター<br>①年間延べ利用者数 | 23,841人  | 20,035人 | ②年間延べ利用団体数 | 320団体      | 291団体   |       |    |  |
| 2 長沢小学校わくわくプラザ<br>①登録者数      | 336人   | 328人    | ②年間延べ利用者数  | 18,345人    | 16,089人 |       |    |  |
| 3 南百合丘小学校わくわくプラザ<br>①登録者数    | 401人   | 428人    | ②年間延べ利用者数  | 18,210人    | 18,604人 |       |    |  |
| 1 千代ヶ丘こども文化センター<br>①年間延べ利用者数 | 30,393人  | 28,045人 | ②年間延べ利用団体数 | 299団体      | 284団体   |       |    |  |
| 2 金程小学校わくわくプラザ<br>①登録者数      | 234人   | 233人    | ②年間延べ利用者数  | 11,414人    | 10,944人 |       |    |  |
| 3 千代ヶ丘小学校わくわくプラザ<br>①登録者数    | 321人   | 324人    | ②年間延べ利用者数  | 17,396人    | 17,773人 |       |    |  |
| 収支実績                         | 単位:円<br>1 収入<br>指定管理料 180,413,182<br>補償金 1,701,221<br>合計 182,114,403<br>2 支出<br>人件費 153,302,288<br>管理費 12,537,664<br>事務経費 7,067,606<br>その他経費 8,365,608<br>合計 181,273,166<br>3 差引 841,237 |         |            |            |         |       |    |  |
| サービス向上の取組                    | 運営協議会、保護者懇談会、子ども運営会議、日常的な利用者とのコミュニケーション等により、利用者ニーズを把握し、館の活動や運営に反映した。また、事業者のスケールメリットを活かした全館行事、区行事やグループ行事など、地域を越えた児童の健全育成、交流の場づくりを実施した。  |         |            |            |         |       |    |  |

3. 評価

| 分類  | 項目   | 着眼点  | 配点 | 評価段階 | 評価点 |
|---|--|--|----|------|-----|
| 事業の推進   | 事業推進<br>及び<br>事業成果   | 「仕様書」を遵守して適切な事業の実施がなされているか。                    | 10 | 3    | 6   |
|   |  | 「事業計画」に基づき、着実な事業の推進がなされているか。                   |    |      |     |
|   |  | 「こども文化センター」の運営をすることにより、児童の健全な育成が図られているか。       |    |      |     |
|   |  | 「わくわくプラザ事業」を実施することにより、放課後児童の健全育成が図られているか。      |    |      |     |
| (評価の理由)<br>・仕様書・事業計画に基づき、こども文化センター及びわくわくプラザ事業を適正に実施した。<br>・千代ヶ丘こども文化センターでは、高校生が中心となって初めての試みである「地域でたべようカレー」を企画・実行し、幼児や小学生と高校生の異年齢交流に繋がった。<br>・百合丘こども文化センターでは、新たな事業として地域団体「ほっこり」との連携により「親子であそんじゃおう！ボードゲーム輪一ど」を行い、幼児と保護者や中学生の異年齢交流に繋がった。また、「えいごであそんじゃおう」として、西生田小学校PTAの保護者を講師に招いて英語を使ったゲームやダンスを行うイベントを実施し、子どもたちに異文化体験の機会を提供した。<br>・百合丘小学校わくわくプラザでは、百合丘一丁目老人会との連携により「百寿会のみなさんと遊ぼう！わくわく輪投げ大会」を行い、地域の高齢者の方にもわくわくプラザの活動や利用児童についての理解を深めてもらうとともに、地域住民の世代を超えたつながりを促進した。また、新1年生やその保護者に「親子マンカラ大会」への参加を積極的に呼びかけることで、実施したことで、児童や親子だけでなく、保護者同士のコミュニケーションの促進にも繋がった。  |  |  |    |      |     |
| サービス向上及び業務改善  | 利用者ニーズ及びセルフモニタリング  | サービス向上のために、利用者等の意見を適切に把握しているか。                 | 10 | 4    | 8   |
|   |  | 利用ニーズを把握し、事業実施に適切に反映しているか。                     |    |      |     |
|   |  | セルフモニタリングについて、適切に実施しているか。                      |    |      |     |
|   |  | 利用ニーズの把握、セルフモニタリングの実施の結果、業務改善につながっているか。        |    |      |     |
|   | 苦情等への対応  | 利用者からの苦情や指摘事項、意見への対応などが適切に行われているか。             | 5  | 3    | 3   |
|   | 特別な配慮を要する利用者への対応   | 特別な配慮を要する利用者への対応が適切になされているか。                   | 5  | 3    | 3   |
|   | 学校及び行政機関との連携   | 事業の実施にあたり、学校及び行政機関、地域の団体、地域住民、施設等との連携がなされているか。 | 10 | 3    | 6   |
| 施設・事業の広報  | 施設を知ってもらい、事業の充実を図るための周知の活動等に取り組んでいるか。  | 5  | 4  | 4    |     |
| わくわくプラザの充実  | ・①わくわくプラザ多世代交流促進事業、②学習タイム、③わくわくプラザメール配信サービス、④「地域の寺子屋事業」との連携(実施していないわくわくプラザにあつては、実施に向けた検討・調整等)について取り組み、わくわくプラザ事業の充実を図っているか。 | 5  | 4  | 4    |     |
| (評価の理由)<br>・利用者ニーズ及びセルフモニタリングについては、意見箱の活用や利用者アンケート、子ども運営会議等を通して、利用者ニーズ把握に努め、施設利用ルールの改定や購入図書選定のほか、要望の多い事業を増やしたり、運営に反映させている。千代ヶ丘こども文化センターでは、地域教育会議参加者と連携し、子ども運営会議で提案のあった千代ヶ丘こども文化センターの歌を作成するなど、意見を取り入れている。また、法人作成様式を用いセルフモニタリングを実施、職員で結果を共有し運営の振り返りに役立っている。<br>・苦情等への対応について、苦情処理の体制・手順について整備され、相談窓口について利用者へ周知されている。結果として、大きな苦情事案はなかった。<br>・特別な配慮を要する利用者への対応について、各学校の児童支援コーディネーター教諭と情報交換を密に行いながら、児童への対応の統一化を図った。<br>・学校及び行政機関との連携については、管轄内小中学校の学校教育推進会議の委員を担うことで、学校運営に携わり、連携強化に繋がった。また、大学生ボランティアと新たに連携し、「ゆりこぶん秋まつり」を開催し、地域の交流を促進した。<br>・施設・事業の広報については、地域住民向けの地域版こども文化センターだよりだけでなく、新たに乳幼児親子に向けた「キッズ通信」を発行して、行事や施設等に関する広報を行った。また、たよりの配布先を新規開拓し、町内会への回覧先を5つ増やすなど、幅広い対象年齢や地域に対して、効果的かつ積極的な広報を行っている。<br>・わくわくプラザの充実について、百合丘小学校わくわくプラザでは、保護者会での意見を踏まえ、学習タイムにおいて、宿題と読書のエリアを分ける、自習の仕方が分からない児童の専用テーブルを設けてスタッフがアドバイスする、「学習タイムがんばりカード」によって児童に達成感を味わってもらうなど工夫している。 |  |  |    |      |     |

|  |  |   |    |   |   |  |
|--|--|---|----|---|---|--|
| 組織管理体制   | こども文化センターにおける適正な人員配置   | ・「仕様書」において定める職員配置の最低基準が遵守されているか。⇒①館長1名配置、②スタッフリーダー2名以上配置、③館長とスタッフリーダーの勤務を割り振らない日が重ならないように配置、④利用時間を通じて常勤職員1名以上配置⑤常勤職員配置1名の場合パートナーを配置、⑥12時30分から18時まで常勤職員2名以上配置(常勤職員を配置できない場合、常勤職員1名につき、パートナー2名の配置)<br>「川崎市契約条例」が遵守されているか。 | 5  | 3 | 3 |  |
|  | わくわくプラザにおける適正な人員配置   | ・「仕様書」において定める職員配置の最低基準が遵守されているか。⇒①長期休業日等の開室時間の延長対応、②放課後児童健全育成事業の対象児童以外の利用児童概ね20名につき、チーフサポーター1名以上配置、③参加児童数の多い時間帯に学校の特別教室等を使用して、複数箇所に分かれて事業を実施、④わくわくプラザ事業に、月～金の9:30から18:00まで常勤職員を配置<br>「川崎市契約条例」が遵守されているか。                | 5  | 3 | 3 |  |
|  | 職員の研修体制  | 職員の資質向上のために必要な研修が実施されているか。<br>職員が研修に参加しやすい仕組みづくりがなされているか。   | 10 | 4 | 8 |  |
|  | 個人情報等の取扱   | 法人として、個人情報保護に関する規定や体制を整備しており、適正に取り組んでいるか。   | 5  | 3 | 3 |  |
| <p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>こども文化センターの適正な人員配置については仕様書・事業計画に基づき、適正な配置がされている。</li> <li>わくわくプラザの適正な人員配置については仕様書・事業計画に基づき、適正な配置がされている。</li> <li>職員の研修体制については、職員が市の研修を受講するとともに分野ごとの法人としての研修が行われている。予め研修計画を立てた上で館長主導で各職員の研修受講の促し及び管理を行っている。また、館内会議やスタッフ会議等において、研修を受講した職員が報告しているほか、研修資料やレポートをファイル等に一元化し、職員が閲覧できる等、知識を共有している。</li> <li>個人情報の取扱については、法人において定めている、個人情報保護方針及び取扱規定に基づいて、個人情報等は鍵のかかる保管庫に保管されている。また個人情報の漏洩の事実はない。</li> </ul> |  |   |    |   |   |  |
| 適正な業務実施  | 施設・設備の保守管理   | 安全な施設利用のため、施設や設備(AEDを含む)の保守・点検を適切に行っているか。<br>建築物定期点検及び建築設備定期点検の実施が適切に行われているか。<br>備品等の管理が適切になされているか。   | 5  | 4 | 4 |  |
|  | 利用者の安全確保   | 利用者の安全を確保するための体制が整っているか。<br>事故等が発生した場合に迅速かつ適切な対応が図られているか。<br>事故防止や感染症予防対策等が事前に図られているか。<br>施設の防犯対策に工夫がなされているか。<br>災害発生時に備えた対応が図られているか。<br>災害発生時に適切な対応・行動ができる取組がなされているか。  | 10 | 3 | 6 |  |
|  | <p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設・設備の保守管理については、こども文化センター・わくわくプラザ共に、施設・設備の保守点検を日常的に行い、補修が必要な場合は適宜、工事等実施している。特に東百合丘こども文化センターでは、授乳・オムツ替えスペースに新たにカーテンを設置するなど、利用者の利便性の向上を図った。</li> <li>利用者の安全確保については、法人作成の各種マニュアルに沿って、事故対応や衛生管理等を適切に行うとともに、各事例の館長会議での共有及び事例検討会などを開催し議論を重ね、職員等の意識向上を図っている。</li> <li>防犯対策及び災害時の対応として、館ごとに作成している「災害時対応マニュアル」に基づき、災害備蓄品の常備や消防訓練、避難訓練の実施等、防災体制の強化に取り組んでいる。</li> </ul> |   |    |   |   |  |
|  | 適切な金銭管理・会計手続   | 法人の規定等に沿った適切な会計処理と金銭管理がなされているか。   | 5  | 3 | 3 |  |
|  | 効率的・効果的な支出   | 「事業計画」に沿った適切な支出がなされているか。<br>効率的な執行に努め、経費削減に具体的に取り組んでいるか。<br>支出に見合う効果が効果が得られており、サービス水準も確保されているか。   | 5  | 3 | 3 |  |
| <p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>適正な金銭管理・会計手続について、法人の規定等に沿った適切な会計処理と金銭管理がなされている。</li> <li>受託20グループ32施設を管理している運営法人のスケールメリットを活かし、一元的な臨時職員の雇用・管理、警備等業務委託の一括契約、消耗品や備品の一括購入等の取組により、効率的・効果的な経費の支出がなされている。</li> </ul>  |  |   |    |   |   |  |

#### 4. 総合評価

| 評価点合計   | 67 | 評価ランク | C |
|---|----|-------|---|
| <p>こども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に長年に渡り携わってきた経験を活かし、安定した施設運営を実施している他、市内20グループの指定管理を行うスケールメリットを活かした全グループ合同行事、区合同行事等に加えて、各館独自でも様々な事業を行うなど、グループ全体で豊富な行事を行った。その際、地域の老人会や子ども会等と連携した事業を実施する等、地域に根差した事業を行うとともに、企業の社会貢献等のプログラムを活用した事業を行うなど、良質なサービスを提供している。</p> <p>また、高校生の発案をもとにしたイベントを実施したり、小学校PTAの保護者等を講師として事業を実施したり、さらには保護者からの意見に応じてわくわくプラザの学習タイムの改善を行ったりと、適宜、利用者の意見を取り入れながら、継続的に事業の充実に繋げている。</p> <p>さらに、研修についても、各グループや各館で研修計画を作成するとともに、それぞれの施設においても工夫をこらしながら独自の研修も実施するなど、職員の資質向上にきめ細かく、かつ意欲的に取り組んでいる。</p> |    |       |   |

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

|   |
|---|
| <p>今後も、学校や地域団体等と連携しながら、子どもの安全・安心な居場所の提供だけでなく、多世代交流や多様な体験をおとした育成事業に努めること。また、行政機関や企業との連携により、小中高生から高齢者まで、多世代にとって、役立つ情報発信を行うとともに、地域住民にとって居心地のよい場となるよう努めること。また、新型コロナウイルスの感染予防のための「新しい生活様式」を踏まえたこども文化センター及びわくわくプラザの運営に取り組むこと。</p> |
|---|